

第2回 藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議 議事要旨

■日 時：2017年（平成29年）12月22日（金）午後2時30分から午後4時30分まで

■場 所：藤沢商工会館（ミナパーク） 302 会議室
（神奈川県藤沢市藤沢607-1）

■出席者（敬称略、50音順）

会 長：柳沢厚

副会長：岡村敏之

委 員：相澤光春、浅井了之、石井博之、上田敬生、大矢卓嗣、川崎隆之、北村和利、
小林寿美恵、佐藤大作、柴田賢一、嶋田勝弘、竹村裕幸、土井浩司、長瀬輝行、
西村靖生、林正行、三上雅之、山田秀幸、渡部直樹

事務局：藤沢市 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当、株式会社日建設計

■議事次第

1. 開 会

2. 議 題

(1) 前回の検討会議の振り返り等について

(2) 駅前空間整備の事例について

(3) ワークショップ

テーマ

①藤沢駅のイメージ、藤沢らしさについて

②藤沢駅にあったらいいと思う機能、空間、過ごし方等について

3. その他

■議事概要：

○前回の検討会議の振り返り、第1回藤沢駅交通広場調整会議の振り返りを行った後、駅前空間整備の事例の紹介を行った。その後、①藤沢駅のイメージ、藤沢らしさ②藤沢駅にあったらいいと思う機能、空間、過ごし方等についてというテーマで、ワークショップ形式で意見交換を行った。ワークショップの概要は次のとおりである。

<藤沢らしさ>

まち全体の印象

- ▶平均点を少し上回った生活
- ▶古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地

環境・気候

- ▶緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所
- ▶駅から富士山が見える景色
- ▶ほっとするような空気感がある
- ▶湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる

観光資源

- ▶観光資源が豊かなまち（江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿）

<藤沢駅にあったらいいと思う機能、空間、過ごし方等について>

交通機能

- ▶歩きやすい歩行空間（曲線のデッキ、屋根）
- ▶気軽に自転車で来られる駅へ

滞留機能

- ▶市民が使えるような憩える場所、休憩できる場所
- ▶立ち止まれる、くつろぐ、遊べるような、ゆったりとした明るく過ごしやすい空間
- ▶食べ歩きや市場、レトロ感のある商店街や飲み屋街
- ▶イベントや待合わせができる場所や広場

観光・ブランディング・藤沢らしさ

- ▶藤沢というブランドを育てる
- ▶湘南観光の玄関として立ち寄ってもらうための機能
- ▶富士山や江の島が見えるような展望スペース